

3月の催し

扇の会

3月3日(日) クレオ大阪南

岩村流 (家元・岩村宗月)、錦流 (家元・錦虎太郎)らが出演。入場無料。

琉球舞踊 第11回「島々の踊り」

3月10日(日) 大阪・国立文楽劇場

「金城康子琉球舞踊場」創立45周年の記念公演。家元の金城康子が宗家、代行の金城啓一郎が二代目家元を襲名する名披露目の舞台でもある。

昼夜2回公演。昼の部午後1時、夜の部午後5時開演。

第18回滋賀舞踊フェスティバル

3月17日(日) 大津市民会館

扇寿流 (家元・扇寿悦湖)、新吉野流 勝登美会 (会主・吉野勝登美)らが出演。

牧園流北陸地区おさらえ会

3月17日(日) 小松公民館大ホール

牧園流 (家元・牧園親子) 北陸地区の一門が日頃の成果を披露。

山門流創流95周年記念公演

3月20日(祝) 大阪・国立文楽劇場

開演10時30分。山門流 (家元・山門大扇)の創流95周年を記念し、山門流一門とともに、西川雅夫、天羽祥瑞、若泉徳榮、山村若穂、宗山流胡蝶、千川貴栄、若月仙乃助ら東西の舞踊家出演、盛大な舞台を披露。

入場料 一般3,000円、指定5,000円。

お問合せ 0749-333-0473

第20回わフェスティバル

3月20日(祝) 吹田サンクスホール

英流 (家元・英煌)らが出演し、多彩な舞台を披露。

25周年記念 京扇流踊りの会

3月24日(日) 相模原市民会館

今年、相模原地域に伝わる民話をテーマにした創作舞踊の発表とともに、京扇流 (家元・京扇寿々若) 一門による新舞踊の数々を幸やかに披露。

中川雅夫どんちよう会

3月14日(日) 大阪・国立文楽劇場

出演 中川雅夫、桂雀々、藤代由紀子、南条好輝、紅萬子、未央一、鳩笛真希ほか。日本舞踊担当 白百合寿栄 (白百合流家元)。

入場料 (税込) S席5,000円 (当日5,500円)、A席3,500円 (同日4,000円)。

お問合せ 0749-333-0473

南座プロデュース公演松竹新喜劇

3月1日(日) 10日 京都・南座

また、平成20年には分家を許され、「緑栄会」を主宰して弟子の指導・育成にも当たっている。

昨年の3月24日には、池田市民文化会館で舞踊会を開催、日頃の成果を披露した。

この人 この舞

天羽流桐流分家 緑栄会代表
桐彩緑 (天羽祥緑)



和の心を大切に仲良く楽しく

やがて結婚。その後の25年間というもの、踊りをピタッと封印した。時には、「踊りの虫が騒ぐ」こともあったが、子育てに家業に専念してきた。そうした中で、時間的に少しゆとりのできた頃、「友人の紹介」で、新舞踊・桐流 (古典・天羽流)と出会うことになり、その際に親の家元 (新舞踊桐彩華、古典舞踊天羽祥瑞)の「得も言われぬ踊りの素晴らしさ」にぞっこん惚れ込んで、弟子入りを決意した。平成2年3月のことだったという。

6歳になった頃、長唄や歌舞伎など。古典物。が大好きだった母親の楽しみで日本舞踊・藤間流の手ほどきを受け、受験勉強で一時お休みした中学時代を除き、小学校から高校、大学、卒業後の独身時代まで稽古を続け、数々の舞台にも立った。



「古典には古典の良さがあり、新舞踊には新舞踊の良さがあると思います」と桐彩緑さん。あえて新舞踊の魅力を尋ねると、「一つの形にとらわれずに自由に表現できること」だということ。しかし、「自由な表現が許されている」とは言っても、やはり基本が大切だと云い、稽古では、「家元の振りの形を大事に守り、基礎をきっちり入れる

歌謡曲・演歌 2月の新譜 JEUGIA

▼「ほろよい酒場」 伍代夏子 ▼「のこり月」 瀬川瑛子 ▼「最後の川」 チャン・ユンジュン ▼「雪割りの花」 北川大介 ▼「夫婦つくしんぼ」 瀬口侑希 ▼「恋力」 中西りえ ▼「還暦祝い唄」 千昌夫 ▼「大阪雨どり」 川崎修二 ▼「ベサメムー」

2月カラオケベスト15

東京音楽工業

- ①「おんなの波止場」 神野美伽
- ②「雨の裏町」 北山たけし
- ③「余市の女」 水田竜子
- ④「雨の思案橋」 真木祐布子
- ⑤「酒のやど」 香西かおり
- ⑥「白川郷」 水森かおり
- ⑦「みちのく風酒場」 千葉一夫
- ⑧「旅枕」 鳥羽一郎
- ⑨「男橋」 北島三郎
- ⑩「人生はふたりの舞台」 冠二郎
- ⑪「うたかたの風」 竹島安
- ⑫「おんな川」 大川栄作
- ⑬「止り木暮らし」 長保有紀
- ⑭「ひとり長良川」 水森かおり
- ⑮「夜明けのブルース」 五木ひろし

「心にかけているという。これからについては、「常々お家元から教えて頂いていることですが、踊りは何よりも和の心が大切。これから人も人とのつながりを大事にして、仲間の皆さんと一緒に仲良く楽しく踊り続けて行きたいと思っています」という。そして、「お客さんたちに「よかったわ」と喜んで頂けたら最高。難しいことですが、少しでも皆さんに感動を与える踊りができるように頑張ります」と。

桐彩緑 (きり さいりよく) 大阪府生まれ。6歳で藤間流に師事。平成2年、新舞踊桐流 (古典天羽流)に入門。平成20年、分家を許される。「緑栄会」を主宰。弟子の指導・育成に当たるとともに数多くの舞台公演に出演するなど活発な舞踊活動を展開、活躍中。大阪府箕面市在住。

多くの皆様を
ご入会お待ちしております。

社団法人 日本創作新舞踊協会

入会のご案内

(協会設立の目的)

日本文化の神髄である和の精神 (相互扶助) に基づいて、日本伝統の舞踊文化の品揃と発展を図り、舞踊家の地位・職能を確立して一層の繁栄を期すとともに、わが国の文化の発展に寄与します。

●お申し込み・お問い合わせは本協会事務局へ●

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-1518
TEL・FAX (0774) 39-8007

良質のかつらを低価格で御提供させていただきます

上田かつら店

〒520-0107 滋賀県大津市雄琴北二丁目30-5
TEL・FAX (077) 579-0627 携帯 090-1022-6701